

「主と」新聖歌431番

1. 今までの私の人生 一つの出会いで生まれかわり
黒く重いとびらは開かれ
一つの光が射し込んできた

* イエス・キリストの愛を今 おさえきれずに ウウウ
私は生きています とこしえまでも生きる 主と

2. 地平線のはるかかなたに 幸せは何かと
叫(さけ)んでみても
人々のいつわり 雲となり 昨日(きのう)まで真実
知らないままに 【*くりかえし】 (次)

「主と」新聖歌431番

3. 私は登ります カルバリ 祈る心に つきさす思い
血に染(そ)まった主イエスの十字架
私も背負って 地(ち)の果(は)てまでも

* イエス・キリストの愛を今 おさえきれずに ウウウ
私は生きています とこしえまでも生きる 主と

153 やすらかな流れのときも

1. やすらかな流れのときも 悲しみのなみも
主にあれば みな喜び ころもみたす平和

* ころもみたす ころもみたす平和

2. すべてのつみは十字架に くぎづけられて
解きはなたれた喜び ほめよイエスをほねよ

* くりかえし

3. 主がやがて来られるその日 ラツパの音(ね)は響き
世の終わりつげるときも ころもみたす平和

* くりかえし

新聖歌140番 「天つみ使いよ」

- 1 あまつみ使いよ イエスの御名の
力をあおぎて 主と あがめよ ×2
- 2 いのちをささげし あかしびとよ
ダビデのみすえを 主と あがめよ ×2
- 3 世(よ)の罪びとらよ イエスの愛と
悩みを思いて 主と あがめよ ×2
- 4 よろずの国びと み前にふし
みいつをあおぎて 主と あがめよ ×2
- 5 永遠(とわ)に世をしらす イエスキみにぞ
冠り(かむり)をささげて 主と あがめよ ×2 アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌385番 「主よ終わるまで」

- 1 主よ終わるまで 仕えまつらん
みそば離れず おらせたまえ
世(よ)のたたかいは はげしくとも
みはたのもとに おらせたまえ
- 2 浮世(うきよ)の栄え 目をまどわし
いざないの声 耳に満ちて
試(こころ)むる者 内外(うちと)にあり
主よわが盾(たて)と ならせたまえ

【次】

新聖歌385番 「主よ終わるまで」

- 3 静かに聖(きよ)き み声をもて
めいりの嵐 静めたまえ
心にさわぐ 波(なみ)はなぎて
わが主のみむね さやに写(うつ)さん
- 4 主よ今ここに 誓(ちか)いをたて
しもべとなりて 仕えまつる
世(よ)にあるかぎり この心を
常にかかわらず 持たせたまえ

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの
おお みかみに

ときわに たえせず
みさかえあれ
みさかえあれ
アーメン